

## 2025 年度外部評価委員会評価を受けて

神戸女学院大学

学長 中野敬一

FD センターディレクター 木村昌紀

このたびも、本学の 2025 年度自己点検・評価活動にお力添えをいただき、的確な点検・評価及びご助言やご提案を賜り、誠にありがとうございますございました。ご指摘いただいた点を踏まえ、本学の質の向上に活かしてまいります。

各組織へのご指摘については、本年 12 月中に、各組織からの回答を共有させていただく予定です。ご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

総評においても、本学各組織の自己点検・評価活動で概ね年度計画項目ごとに中期計画との関連性が示されている点、自己評価委員会・大学企画評価会議による点検で精度の高い内部質保証とその改善がみられる点、独自の評価システムの開発や内部質保証体制図の整備、外部評価委員の皆さまの点検項目の精査も評価いただき、重ねて御礼申し上げます。

加えて、本学の自己点検・評価体制をより充実したものにすためのご指摘やご助言をいただきました。ここでは、この総評についてご回答申し上げます。

1. 大学全体の中期目標・計画に対する各部署の目標・計画との関連性や必要性を明確化することをご提案いただきました。来年度から新たな 5 年計画がはじまります。その中で、大学全体の中期目標・計画と各部署の活動が連携するように、大学将来計画委員会を中心にして現在新たな中期目標や計画を立てて準備を進めております。
2. ご指摘 1 とも関連して、各部署の計画が大学全体にどのように貢献するか（強みを伸ばし、弱みを克服するか）や、本学を取り巻く環境を含めた分析を関係者で共有し、相互理解を深めるようにご助言をいただきました。本学を取り巻く環境を踏まえ、大学全体の中期目標・計画を設定し、各部署との活動がそれと連動するようにしたいと考えております。
3. 現在の自己点検・評価活動は計画項目数が多いため、ミクロな PDCA サイクルに意識が向きやすく、中期目標・計画に向けた着実な活動・評価・改善がなされているかが把握しにくくなっている旨、ご指摘をいただきました。計画項目数が多過ぎる懸念がある点、学内でも意見が出ております。現在、計画項目数を削減する方向にあり、次年度以降も継続的に進めたいと存じます。会議体の整理・統合に関しましても、本学としても課題として認識しており、引き続き検討いたします。
4. 活動全般について、新たな教学部署の教育課程・教員組織の完成に注力するだけでなく、従来の教育課程に属する学生への配慮（点検）も一層留意いたします。ここ数年、新学部の学内外への周知が前面に出ておりましたが、従来の教育課程もあらためて意識して、

日々の教育や周知に努めて参ります。本学の基本理念について、学生には教育プログラムの中で、保護者や受験生には大学案内や全学サイト等で周知しておりますが、その重要性をあらためて認識し、確認（点検）するようにいたします。

5. 中期目標・計画の策定の中で、より効果的な広報活動の展開を意識して検討いたします。また、地域連携・国際連携活動推進について、既存の活動・プロジェクトに加えた、新たなプロジェクト導入のご提案に感謝いたします。進行中の活動とのバランスや実効性も踏まえ、検討できればと思います。

外部評価委員の皆さまには、今年度も多くの項目について、点検・評価いただきますとともに、本学の活動及び取り組みについて細やかにご検討いただき、問題点や工夫すべき点のご指摘をはじめ、貴重なご助言やご提案をいただきました。あらためて御礼申し上げます。ご助言やご指摘をいただいた点について、本学全体で共有するとともに、改善に向けて全学的に協力しながら取り組んで参る所存でございます。今後とも、引き続き本学に対してご助言やご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。